

## マグネシウム等の火災予防に関するマニュアル案

## 1 マグネシウム等の性質（危険性）

## ○マグネシウムの種類

粉末マグネシウム、熔融マグネシウム、インゴットマグネシウム、合金、金属粉（アルミニウム、チタン等）

## ○マグネシウム等の危険性（実験結果を踏まえて記載）

## ○マグネシウム等を取り扱う工場の例示

- ・一般的なマグネシウム工場の流れ（熔解、熱処理～組み立て）を示し、特に注意すべき切削、研磨過程等を例示
- ・切削、研磨過程で発生した微粉が集じん機に流れる過程
- ・湿式集じん機

## ○火災予防上の留意事項

- ・貯蔵し又は取り扱う場合の留意事項（火気（場合によっては水気）厳禁、発火可能性のある物品との接近、接触禁止、衝撃、摩擦の回避等）
- ・廃棄の場合の留意事項（安全な状態での廃棄、産業廃棄物としての廃棄等）
- ・整理及び清掃の徹底
- ・危険性に関しての従業者間での情報共有、教育等

## ○初期消火のポイント（要調整）（実験結果を踏まえて記載）

- ・原則として水消火は禁止
- ・乾燥砂、パーライト、特殊消火剤散布器（金属消火器）
- ・ABC粉末消火器→金属消火剤散布器

## 2 マグネシウム等を取り扱う施設における取扱い時の着眼点

## ○基本的な着眼点

- ・安全な場所（区画、可燃物との距離等）で取り扱っているか
- ・材料や製品の管理をしっかりと行っているか
- ・部屋の清掃をしっかりと行っているか
- ・集じん機の清掃をしっかりと行っているか
- ・従業者に対してマグネシウムの性質、危険性、消火方法等に関する教育を行っているか
- ・少量ではあるが危険物に該当するものが作製されている可能性がある 等

## ○消防署と事業所の連携

消防署と連携するよう示す（消防署との情報共有）

## 3 参考

- 粉じん爆発の危険性（マグネシウムに限らず一般的な粉じん爆発の危険性）
- 日本マグネシウム協会「マグネシウムの取扱い安全手引き」
- 過去の災害事例（教訓）
- 良好事例